

寒河江・山形の **元気** のために

山形県議会議員

うめつ ひろし

榎津博士



県政・調査 活動報告書

発行／榎津博士事務所 発行責任者／榎津博士
事務所／寒河江市元町三丁目3-3 大和ビル2階
電話／0237-84-7117 FAX／84-7118
URL <http://h-umetsu.jp> E-mail h-umetsu@ic-net.or.jp

さらなる山形の発展を目指して

―平成二十六年九月定例会 代表質問―

県議会9月定例会は、9月18日から10月8日までの21日間開催され、平成26年度一般会計補正予算など全議案が可決されました。9月補正予算は、78億6千5百万円で、補正後の累計予算額は6,094億8千4百万円となります。

また、9月定例会にて平成25年度の決算及び関連議案が決算特別委員会に付託され、10月22日から24日まで審議されました。決算については認定すべきものと、また、関連議案については原案の通り可決すべきものと決定されました。

なお、決算の採決は12月定例会において、決算特別委員長の報告の後採決されることとなります。

私は、平成26年9月定例会にて、このたび上程された議案や県政一般について、9月24日に代表質問を行いました。質問項目は次の通りです。

1. 山形デスティネーションキャンペーンの評価と今後の観光振興について
2. ふるさと納税制度の活用について

3. 県税の調定状況と税収見通しについて

4. 東京オリンピック等の事前合宿誘致の取組みについて

5. 電力小売自由化に対する考え方について

6. 県産品の輸出促進体制の強化について

7. 今後の水田農業の展開について

8. 土砂災害対策の推進について

9. YAMAGATAドリームキッズ修了後の育成指導について

*この事業は、優れた資質を有する子どもを「YAMAGATAドリームキッズ」として組織的に発掘し、競技団体や総合型クラブと連携を図りながら一貫した指導体制に基づき、育成・強化プログラムの実施により、社会適応能力、人間性、国際性などを備え持つオリンピックや国際大会、全国トップレベルの大会で活躍できる、高い競技力を有するスポーツ選手の育成（対象者／小学4年生～中学3年生）を行うものです。

※代表質問の内容は要約して掲載させていただきます。

山形デスティネーションキャンペーンの評価と今後の観光振興について

今年6月14日から9月13日まで、3か月にわたって開催された山形デスティネーションキャンペーン（山形DC）では、期間中、多くの観光客が県内各地を訪れてくださいました。

10年ぶり6回目となった今回の山形DCにおいては、官民一体となつて「県民総参加 全産業参加」により、継続的な誘客につながる多くの取組みが進められました。

このことにより、本県の魅力の発信はもろろんのこと、東日本大震災で落ち込んだ本県への観光誘客の復活や風評の払拭、そして何より落ち込んでいた本県経済の活性化に大きな効果をもたらしたものと推測いたします。

そこで、観光入込数や経済波及効果など、山形DCの取組みをどのように評価されているのか。

また、本県観光交流の活性化に向けた次のステップとして、「おもてなし 山形県観光条例」の下で、今後の観光交流の拡大をどのようにして図っていられるお考えか、知事にお伺いいたします。

答弁者（吉村知事）

人口減少社会を迎える中において、観光は、交流人口の拡大により、経済を持続的に発展させ、魅力ある活力に満ちた地域社会の実現に寄与するものとして、重要な役割を担うものであります。今月13日に閉幕した山形DCは、本県観光誘客を

拡大する契機となり、「観光立県山形」の実現に向けて、大きな弾みをつけることができたと考えております。

山形DCでは、「県民総参加 全産業参加」によるオール山形体制により、地域資源の発掘や磨き上げを行い、来県されたお客様が心地良く県内を周遊し、楽しまれ、満足いただける多くの取組みが旅行商品化されました。

また、県民の皆さまが自ら考え実践する「山形日和。」おもてなしプランには、個人、団体、企業など10万人を超える県民の方々からご参加いただき、それぞれの立場や考えでもてなしを実践するなど、本県の観光力を底上げする確かな手ごたえを感じております。

さらに、修学旅行先でのPR活動など次代を担う若者達の取組みは、

